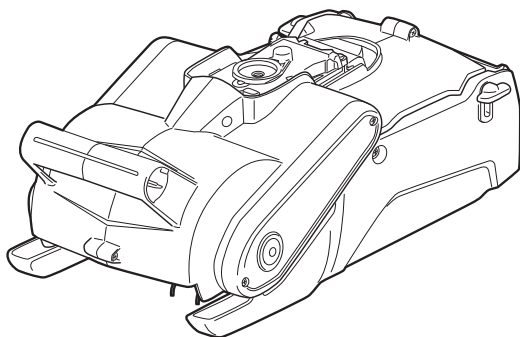


スーパーマルチツール

サッチングユニット

SA01



※ 本製品はスーパーマルチツール本体ユニットを取付けなければご使用になれません。

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書とスーパーマルチツール本体ユニットの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

取扱説明書

保証書付

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
サッチングユニット ご使用に際して	2
騒音について	4
各部の名称	5
仕様	7
付属品	8
用途	8
別販売品	9
サッチングユニットの 取付け、取外し	10
スイッチの扱い方 SMT-2000 の場合 BSMT-1800 の場合	13
サッチング高さ調節 作業	15
サッチング方法	17
サッチの捨て方	18
ポール（別販売品）の使い方	19
20	
サッチング刃の交換	21
各部取付けネジの点検	22
使用後の手入れ	24
作業後の保管	24
修理について	24
故障かなと思ったら	24
25	
保証書	26

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。














誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。









	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			

警告

共通の危険・警告・注意事項は、電気式 SMT-2000 / 充電式 BSMT-1800 のスーパーマルチツール本体ユニット（以下、本体ユニット）の取扱説明書をよくお読みいただき、サッチングユニットご使用の際には、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

サッチングユニットご使用に際して

警告

作業の前に	 必ず守る	<p>本機を使用する前に、作業場所内にある小石や異物（小枝、ガラス、金属類）などの障害物を取除いてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小石などが刃物に当たるとけがの原因になります。
安全	 禁止	<p>雨中や水たまり、および水やり（散水）直後は使用しないでください。また、本機を雨中へ放置したり、水洗いしたりしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 感電や漏電のおそれがあり、事故の原因になります。  感電注意
	 必ず守る	<p>必ず長ズボン、運動靴などを着用してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 刃物に小石などが当たって飛散し、けがのおそれがあります。
作業の	 必ず守る	<p>使用中は、本機を確実に保持してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。
ため	 禁止	<p>子供やペットのいるそばでは使用しないでください。また、子供には絶対に使わせないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 事故の原因になります。
に	 禁止	<p>使用中は、回転している刃物には、絶対に手足や顔など身体を近づけないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ けがの原因になります。
	 禁止	<p>集草ボックスの中に手を入れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 刃物に当たり、けがの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告



禁止

セフティロックボタンを押込んだ状態で、テープなどを使ってセフティロックボタンを固定しないでください。

・安全機構が働かず、けがの原因になります。



禁止

スイッチを引いた状態で、紐やテープなどを使ってスイッチを固定しないでください。

・けがの原因になります。



必ず守る

停電などの時は必ず、スイッチを切ってください。

・停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどによりモーターが停止したときは必ずスイッチを切ってください。電源が回復したときに急に始動し、けがの原因になります。(本体ユニット電気式の場合)



必ず守る

使用中に異物をかみこんで刃物が動かなくなったときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または、電池パックを本体ユニットより取外した後に異物を取除いてください。



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

・そのまま使用していると、けがの原因になります。



点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたときは、刃物や本機などに破損、亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。



必ず守る

刃物にヒビ、欠けなどの異常があるときは、新しい刃物と交換してください。

・作業性が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。



必ず守る

スイッチを切っても刃物はすぐに止まりません。本機の持ち運び、刃物の点検や交換の際は、必ず刃物が止まっていることを確認し、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外してください。

・不意な始動によるけがの原因になります。








分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・発火したり、異常作動してけがの原因になります。

安全作業の
ため
に

⚠ 注意

作業の 前に	 <p>よく読む</p> <p>刃物は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。 ・ 確実でないと、外れたりけがの原因になります。</p>
安全 作業 のため に	 <p>必ず守る</p> <p>刈込み中、刃物を無理に押し付けたりすると、刃物が破損することがありますので注意してください。</p> <hr/>  <p>必ず守る</p> <p>運転させたまま、本機を放置しないでください。 ・ けがの原因になります。</p> <hr/>  <p>必ず守る</p> <p>刃物の交換など、刃物の取扱いには十分注意をし、手袋や布などで手を保護してください。 ・ けがの原因になります。</p>
保管 につ いて	 <p>必ず守る</p> <p>使用しない場合は、必ず屋内に保管してください。保管場所として次の場所は避けてください。</p> <ul style="list-style-type: none">子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる所温度や湿度が急変する所湿気の多い所直射日光の当たる所揮発性物質の置いてある所 <p>・ 事故のおそれがあります。</p>



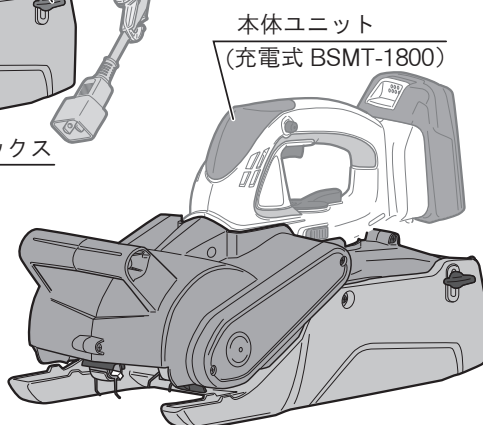
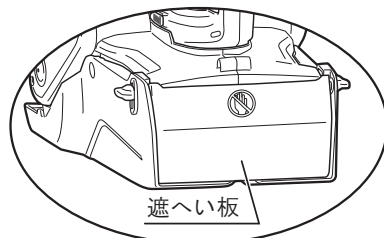
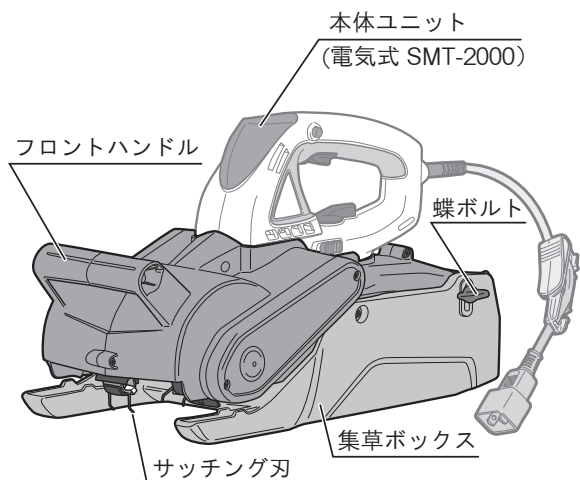
騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

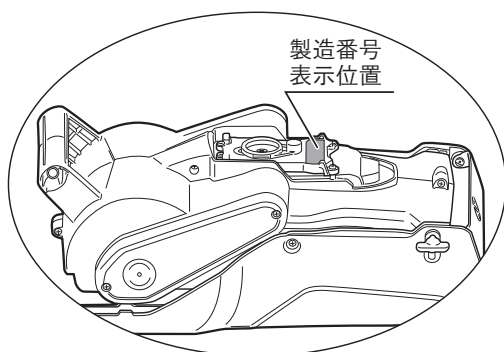
この取扱説明書は、大切に保管してください。

主要機能・名称

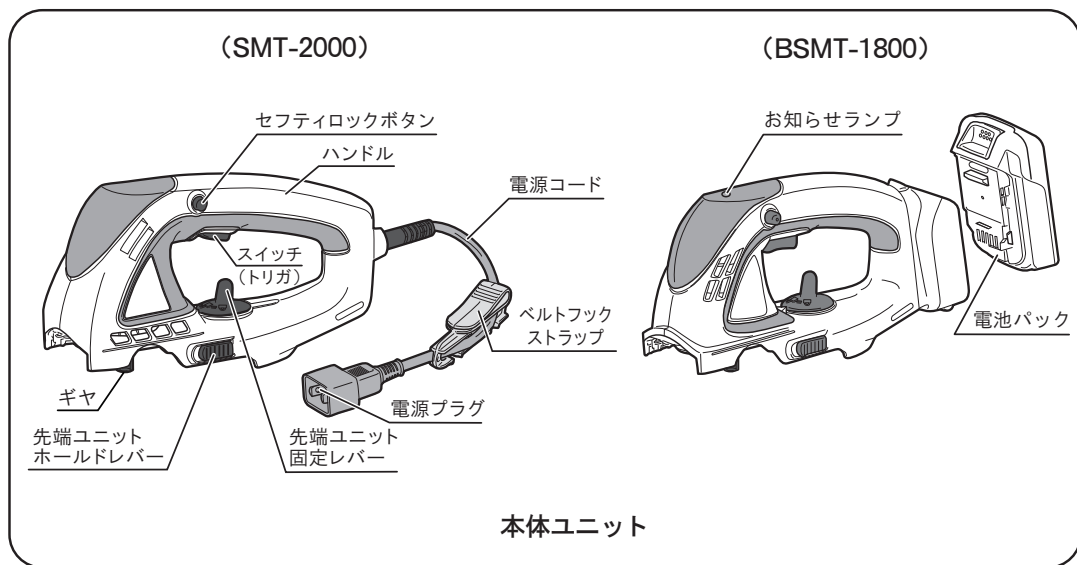
■各部の名称



※ イラストは本体ユニットを取付けた状態です。



※本機は、本体ユニットを取付けなければご使用になれません。



安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

仕様

● 本体ユニット（電気式 SMT-2000）取付け時

- ・ 電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・ 定格電流 2A
- ・ 消費電力 180W
- ・ 無負荷回転数 2,250min⁻¹
- ・ サッチング幅 138mm
- ・ 集草容量 2.9 L
- ・ 本機寸法（長さ×幅×高さ^{※1}） 411 × 213 × 248mm
- ・ 質量 2.6kg
- ・ コード長さ 0.25m
- ・ 絶縁方式 二重絶縁

● 本体ユニット（充電式 BSMT-1800）取付け時

- ・ 電源 DC18V（リチウムイオン）
- ・ 1 バッテリーでの作業面積 約 20 坪^{※2,3}
- ・ 無負荷回転数 2,550min⁻¹
- ・ サッチング幅 138mm
- ・ 集草容量 2.9 L
- ・ 本機寸法^{※2}（長さ×幅×高さ^{※1}） 424 × 213 × 252mm
- ・ 質量^{※2} 3.0kg

※1 サッチング高さは一番低い状態です。

※2 電池パック（B-1815LA）取付け時の値です。

※3 作業条件により異なります。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

付属品・用途

■ 付属品

キャップ 1
(本機取付)



■ 用途

- ・ サッチング（芝に堆積したサッチの除去）

※ サッチ：芝の古い葉や根、刈りカスなど。
詳細は、18 ページ「●サッチについて」を参照ください。

別販売品

●サッチングユニット用



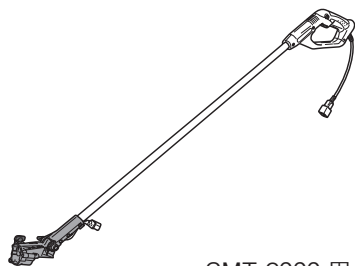
- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>

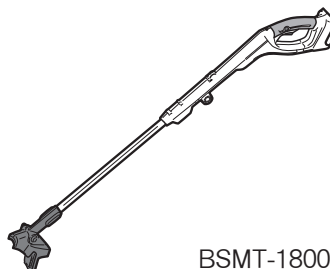


ポール（電気式）



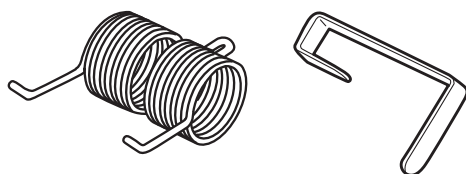
SMT-2000 用

ポール（充電式）



BSMT-1800 用

サッチング刃（クリップ付き）10個入り



（他の先端ユニット用の別販売品について）

※ 取付け可能な先端ユニットについては、同梱してある「スーパーマルチツール先端ユニット」一覧表を参照ください。

※ 先端ユニット用の別販売品は、各先端ユニットの取扱説明書をご確認ください。

準備

■サッチングユニットの取付け、取外し

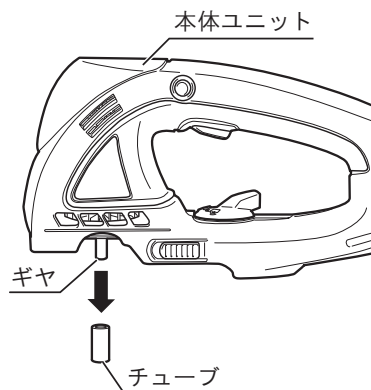
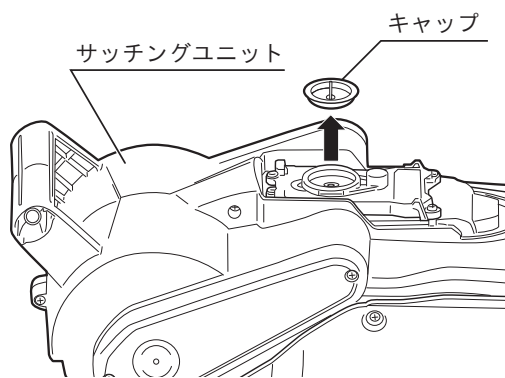
⚠ 警告



必ず守る

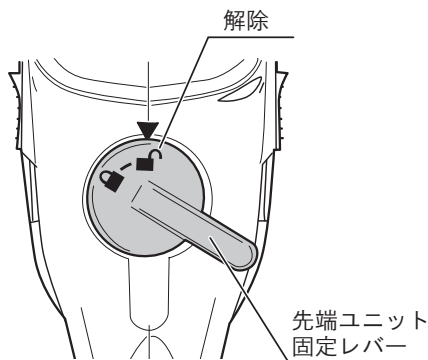
- ・ サッチングユニットの取付け、取外しのときは、本体ユニットのスイッチを必ず切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ サッチングユニットの取付け、取外しのときは、手袋などで手を保護してから行なってください。ギヤの発熱によるやけど、けがの原因になります。
- ・ サッチングユニットは確実に取付けてください。確実に取付けていないと、脱落によるけがの原因になります。

- ・ ゴミやホコリの侵入を防ぐために、サッチングユニットにキャップ、本体ユニットのギヤ部にチューブを取付けています。使用前に取外してください。（取外したチューブとキャップは保管してください。）



(取付け)

1. 本体ユニットの先端ユニット固定レバーが解除の位置になっていることを確認してください。



安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

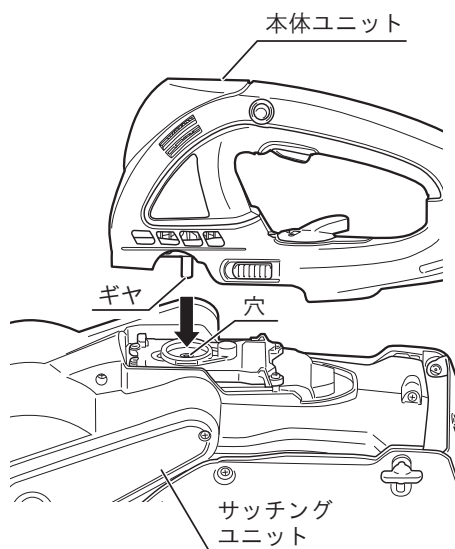
保守と点検

準備

2. 本体ユニットのギヤとサッチングユニットの穴を合わせて取付けます。

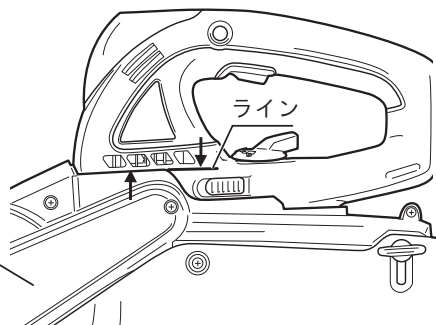


- ・ チューブとキャップを取外していることを確認してください。
- ・ 上手く取付けられない場合は、手でギヤを少し回してみてください。(手袋などで手を保護してください。)



取付けた後、右図の位置にある本体ユニットの溝状のラインとサッチングユニットの端面が一致して取付けられていることを確認してください。

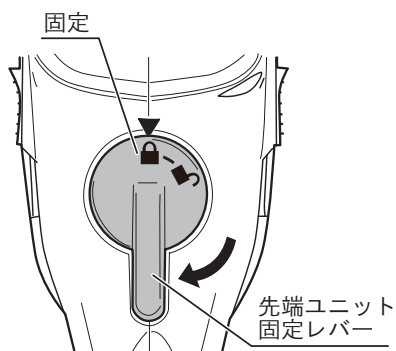
サッチング
ユニット



3. 先端ユニット固定レバーを固定の位置にしてください。

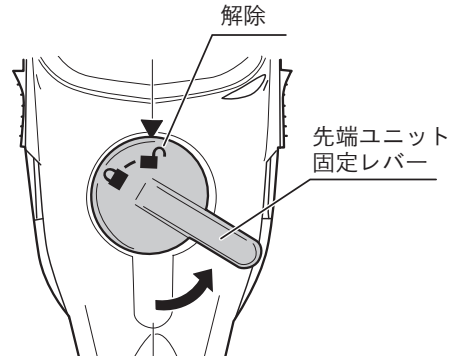


正しく取付けられていないと、先端ユニット固定レバーが固定の位置に動かさません。

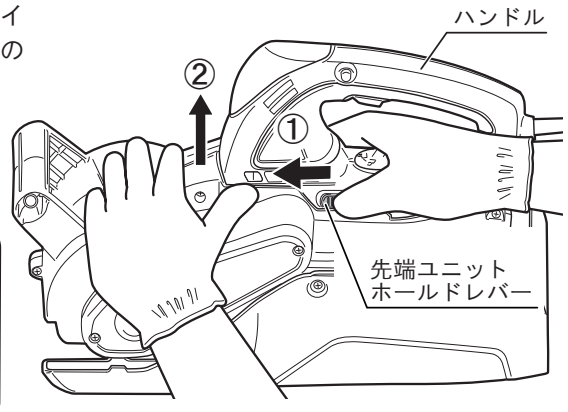


(取外し)

1. 本体ユニットの先端ユニット固定レバーを解除の位置にしてください。



2. 右図のように本体ユニットのハンドル下に手を入れ、両側にある先端ユニットホールドレバーを矢印①の方向にスライドさせながら、本体ユニットを矢印②の方向に取外します。



使用した直後は、本体ユニットのギヤ部やサッチングユニットは熱くなっています。手袋などで手を保護し作業してください。



取外して保管する場合は、ゴミやホコリの侵入を防ぐために、本体ユニットのギヤ部にチューブ、サッチングユニットにキャップを取付けてください。

使い方

■スイッチの扱い方

● SMT-2000 の場合

⚠ 警 告

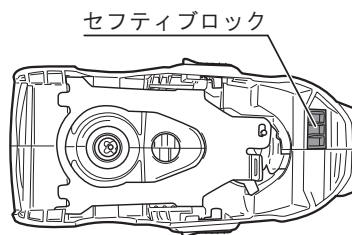


必ず守る



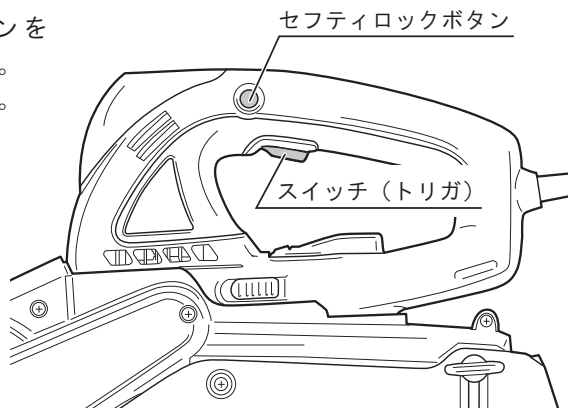
禁止

- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、モーターの回転が異常に高速になり、本機が損傷するおそれがあります。
- ・不意な始動は避けてください。本機が作動して、けがのおそれがあります。
- ・セフティロックボタンを押込んだ状態でテープなどを使ってセフティロックボタンを固定しないでください。安全機構が働かず、けがの原因になります。
- ・セフティブロックは安全機構のため、意図的に操作しないでください。セフティブロックを押すと、意図せずモーターが回転することがあります。



- ・本機は先端ユニット固定レバーを固定の位置にしなければ、スイッチは入りません。
- ・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・電源プラグを電源コンセントに接続するときは、スイッチが切れていることを確認してください。

- ・スイッチは、セフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入ります。トリガを放すとスイッチは切れます。



● BSMT-1800 の場合

⚠ 警告



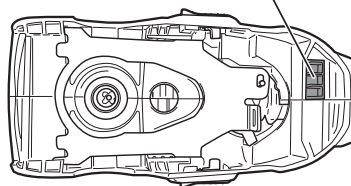
必ず守る



禁止

- ・トリガに指を掛けて運ばないでください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・不意な始動は避けてください。本機が作動して、けがのおそれがあります。
- ・セフティロックボタンを押込んだ状態でテープなどを使ってセフティロックボタンを固定しないでください。安全機構が働かず、けがの原因になります。
- ・セフティブロックは安全機構のため、意図的に操作しないでください。セフティブロックを押すと、意図せずモーターが回転することがあります。

セフティブロック



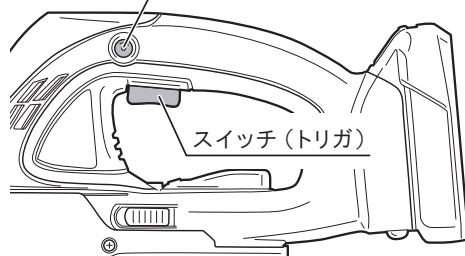
- ・本機は先端ユニット固定レバーを固定の位置にしなければ、スイッチは入りません。
- ・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・電池パックを本体ユニットに取付けるときは、スイッチが切れていることを確認してください。
- ・スイッチを切った直後に再度スイッチを入れると、保護回路が働き、本体が動かない場合がありますが、異常ではありません。

- ・スイッチは、セフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入ります。セフティロックボタンを放した状態で、トリガを放すとスイッチは切れます。

連続運転する場合

- ・トリガをいっぱいに引いた状態で、セフティロックボタンを押込んだまま、トリガから指を放すと、トリガが固定され連続運転になります。
- ・再度トリガを引くと固定が解除され、トリガを放すとスイッチが切れます。

セフティロックボタン



スイッチ(トリガ)

使い方

■ サッチング高さ調節

⚠ 警告



必ず守る

- ・ サッチング高さ調節は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外した後、刃物が停止したことを確認してから行ってください。刃物が確実に停止していないと、けがの原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

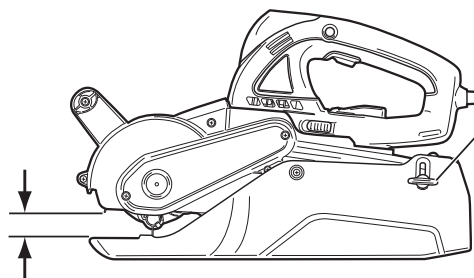
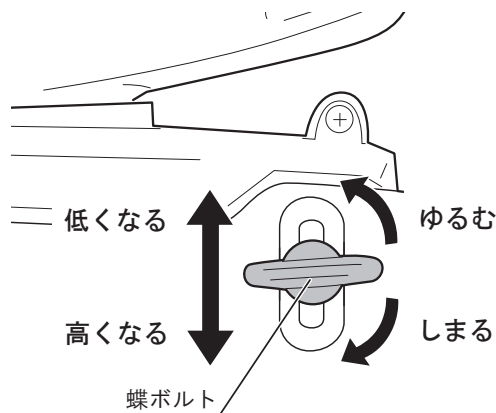
- ・ 梱包時は、サッチング高さが一番低い状態になっています。サッチング高さは、芝の状態や長さに合わせて調節が必要です。まずは高い位置に設定して、サッチが取れない場合は、徐々にサッチング高さを低くしてください。サッチング高さが一番低い状態から作業を始めると、芝を傷めたり、刃物の破損の原因になります。
- ・ 一番低い状態で床面などの上で運転しないでください。床面などを傷つけるおそれがあります。

(サッチング高さを調節する)

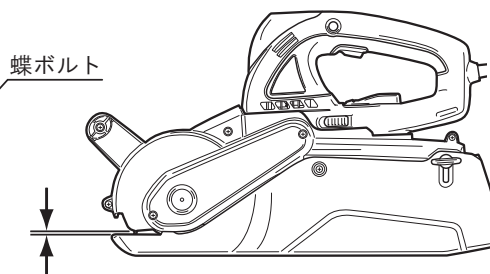
- ・ 両端にある蝶ボルトをゆるめてサッチング高さを調節します。
- ・ 蝶ボルトは矢印方向（ゆるむ）に回すとゆるみ、矢印方向（しまる）に回すと締まります。
- ・ サッチング高さは、蝶ボルトを下に動かすと高くなり、上に動かすと低くなります。



蝶ボルトは作業に合った位置でしっかりと締付けてください。



サッチング高さ … 高



サッチング高さ … 低

⚠ 注意

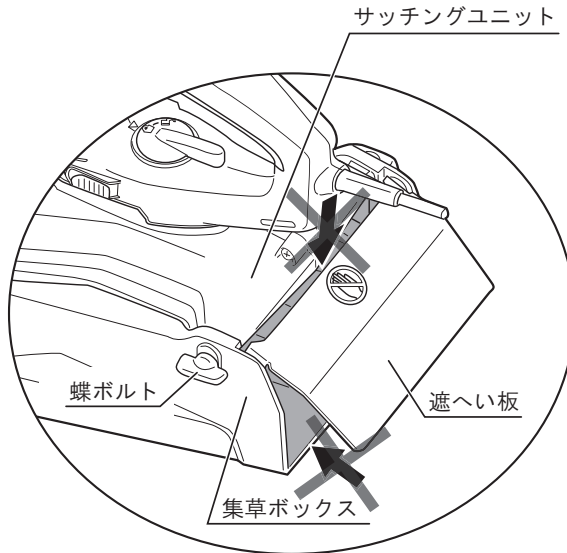


必ず守る

- ・ 蝶ボルトをゆるめ過ぎると、遮へい板がはずれることがあります。はずしたままで使用しないでください。けがの原因になります。



- ・ 遮へい板とサッチングユニットの間に指をはさまないようにしてください。
- ・ 集草ボックスの中に手を入れないでください。



使い方

■作業

警告



必ず守る

- ・本機を使用する前に、小石・枝など異物がないことを確認してください。小石などが刃物に当たるとけがの原因になります。
- ・使用中は、本機を確実に保持してください。確実に保持しないと、けがの原因になります。
- ・無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
- ・使用中は、保護めがねを使用してください。
- ・使用中は、回転している刃物には、絶対に手足や顔など身体を近づけないでください。けがの原因になります。
- ・遮へい板は必ず集草ボックスに取付けて使用してください。刈取った芝クズなどが飛び散り、けがの原因になります。
- ・万一、異物をかみ込んだときは、直ちにスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外した後に異物を取除いてください。
- ・雨の中での作業や雨上がり、水やり（散水）直後のサッチングはしないでください。感電や漏電のおそれがあり、事故の原因になります。

注意



必ず守る

- ・本機はサッチングに使用してください。指定以外の用途に使用しないでください。
- ・けがや故障の原因になります。
- ・指定以外の用途に使用すると、刃物の故障の原因にもなります。
- ・炎天下での作業はできる限り避けてください。炎天下で作業をする場合には、暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
- ・刃物は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・使用中は、とび石・縁石などに刃物を当てたり、強い衝撃を与えないでください。とび石・縁石などにキズ、破損のおそれや刃物が変形し、故障の原因になります。刃物が異物に当たった場合は、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外してください。刃物が完全に停止してから異常の有無を確認してください。
- ・サッチングはシーズン中に月1回程度行なってください。過剰なサッチングは芝を枯らすおそれがあります。

⚠ 注意



電源プラグ
を抜く

- ・使用中、コードを切断しないよう注意してください。万一、コードを傷つけたり誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因になります。（本体ユニット 電気式の場合）



必ず守る

- ・集草ボックス内のサッチの溜まり具合を確認してください。溜まり過ぎないように注意して、早めに捨ててください。本機を損傷するおそれがあります。

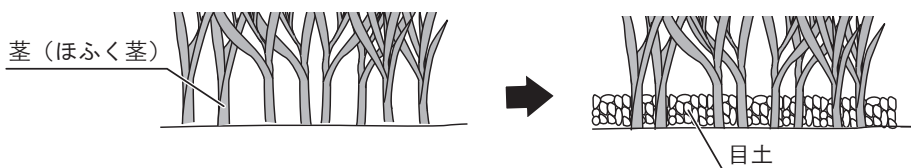
■ サッチング方法

● サッチについて

サッチとは刈りカスや枯れた芝が堆積したものです。サッチは枯れ葉などと比べて繊維質が多く自然分解が遅いため、分解されず土壤に堆積していきます。少量のサッチは芝地の水分保持や雑草の防止に役立ちますが、サッチが多くなると芝の根部分の透水性や通気性の悪化、病気・害虫の発生の原因となります。サッチにより芝の生長が悪くなりやすいので、サッチが多くなる前に定期的にサッチングを行ってください。

● サッチング

- ・サッチング高さは高い状態からサッチの取れ具合を確認しながら調整してください。サッチング高さが低すぎる場合、芝を傷めたり、刃物の故障の原因となります。
- ・サッチが多く堆積している芝地の場合、サッチを取り除くと芝の茎（ほふく茎）が露出する場合があります。茎（ほふく茎）の保護や乾燥を防ぐため、茎（ほふく茎）が見えなくなるまで目土を行ってください。



使い方

■サッチの捨て方

⚠ 警告



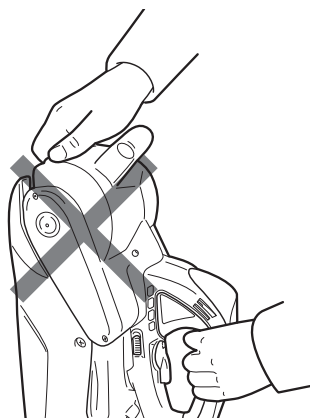
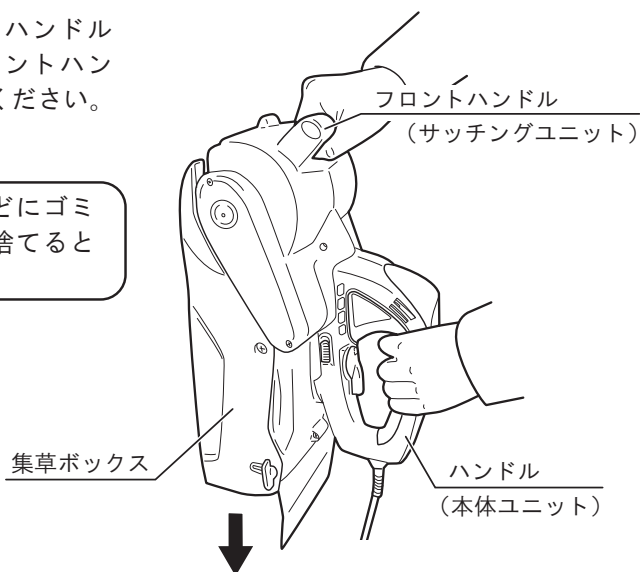
必ず守る

- ・ 集草ボックス内のサッチを捨てる前には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 刃物の近くには絶対に手を近づけないでください。刃物に接触してけがの原因になります。

- ・ 右図のように本体ユニットのハンドルとサッチングユニットのフロントハンドルを持ってサッチを捨ててください。



しっかりした容器などにゴミ袋を受けてサッチを捨てると簡単です。



悪い例

■ポール（別販売品）の使い方

- ・ポールを取付けることにより、立ったままの姿勢でサッチングができ、背の高さに応じて、ポールの角度調節ができます。
- ・取扱方法については、ポールに同梱してある取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

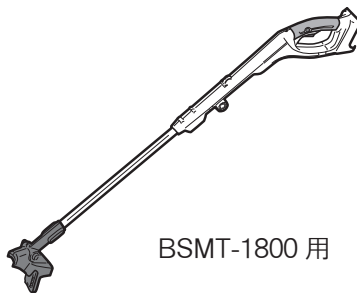


ポール（電気式）

ポール（充電式）



SMT-2000 用



BSMT-1800 用



必ず守る

- ・ポールを持ってサッチを捨てないでください。ポールや本機の破損や意図しない落下によるけがの原因になります。サッチの捨て方は19ページ「■サッチの捨て方」を参照ください。

保守と点検

警告



必ず守る

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く、または電池パックを本体ユニットより取外してください。けがや感電の原因になります。



分解禁止

- ・絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

注意



必ず守る

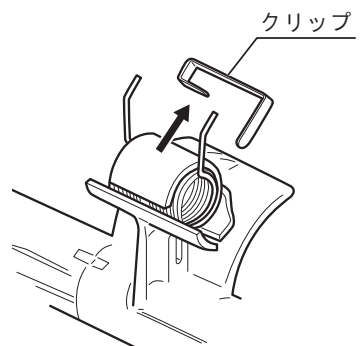
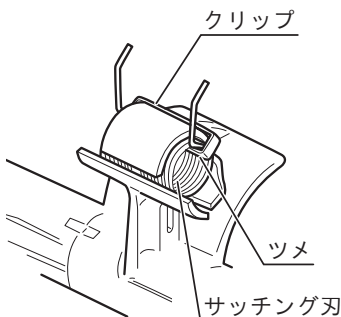
- ・刃物の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。けがの原因になります。

■サッチング刃の交換

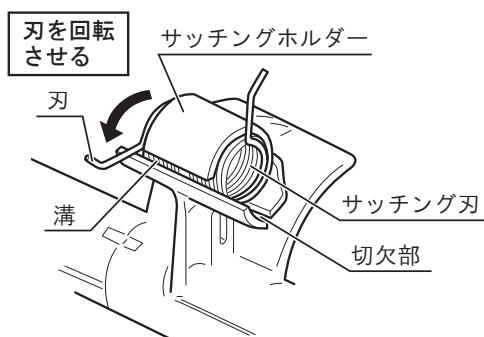
- ・サッチング刃は消耗品です。摩耗した場合は、新しいサッチング刃に交換されることをお勧めします。サッチング刃の交換は下記の手順で行なってください。

(取外し)

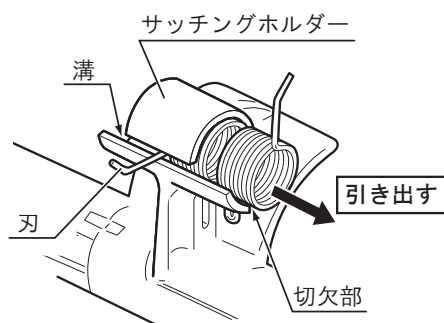
1. 本機から本体ユニットを取外します。
(10～12ページ「■サッチングユニットの取付け、取外し」参照)
2. サッチング高さを高くします。(15～16ページ「■サッチング高さ調節」参照)
3. 本機を裏返します。
4. クリップのツメをお手持ちの⊖ドライバーなどで伸ばして取外します。



5. サッチング刃の刃の部分に矢印方向に回転させます。



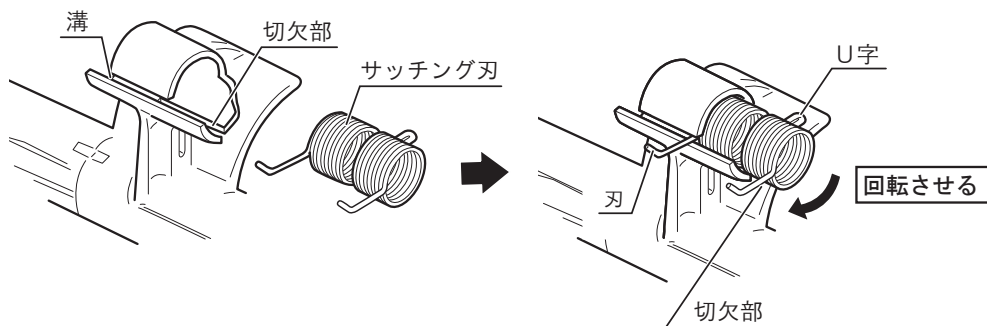
6. サッチングホルダーの溝に沿わせてサッチング刃を引き出します。引き出す際は、サッチングホルダーの切欠部に引き出してください。



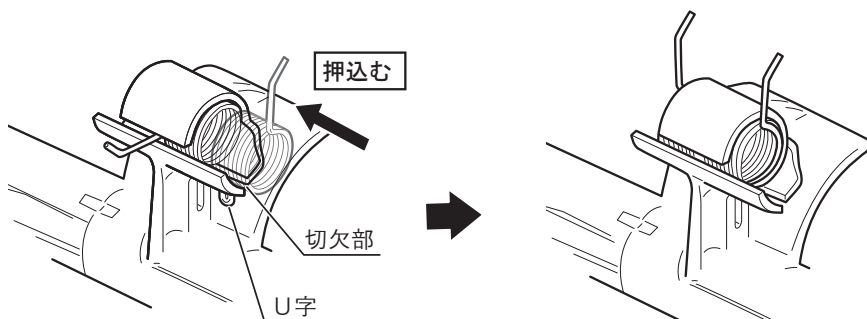
保守と点検

(取付け)

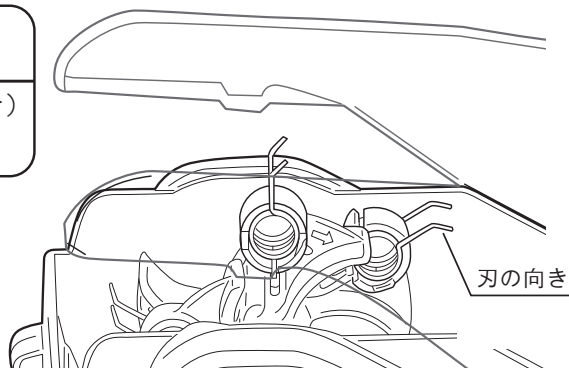
1. サッチング刃の刃の部分（片方）を溝にさし込み、U字部分を切欠部の位置になるまで回転させます。



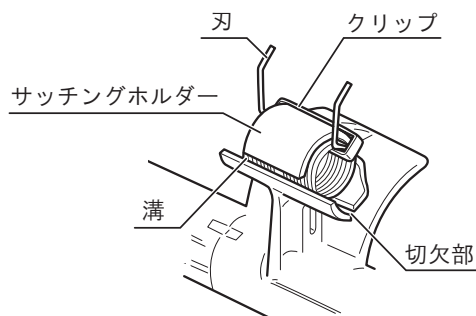
2. サッチング刃のU字部分を切欠部に合わせてさし込み、右下図の位置までサッチング刃を押し込みます。



サッチング刃の取付位置(刃の向き)に注意してください。



3. サッチング刃の取付位置（刃の向き）に間違いがないことを確認したら、右図の位置にクリップを取付けます。



クリップの取付位置に注意してください。

■各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

- ・本機は、乾いた布・せっけん水をつけた布などでふきとり、汚れを落としてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油などでの清掃は本機をいためます。また、本機の水洗いは絶対にしないでください。

■作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・本体ユニットから取外して保管する場合は、ゴミやホコリの侵入を防ぐためにキャップを取付けてください。

■修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症状	原因	処置	参照ページ
サッチングユニットの取付けができない	本体ユニットのギヤのかみ合わせが悪くありませんか。	手でギヤを少し回してみてください。	11
先端ユニット固定レバーが固定の位置にできない	取付け位置は正しいですか。	本体ユニットの溝状のラインと、サッチングユニットの端面を合わせて取付けてください。	11
動かない	先端ユニット固定レバーが固定の位置になっていますか。	本体ユニットと、サッチングユニットを正しい位置に取付けた後、先端ユニット固定レバーを確実に固定の位置にしてください。	11
サッチが取れない	サッチング刃が摩耗していませんか。	新しいサッチング刃に交換してください。	21～24
	サッチング刃の取付位置（刃の向き）は正しいですか。	サッチング刃の交換時、刃の向きを確認してください。	23
	サッチング高さは調整できていますか。	芝の状態や長さに合わせて調節してください。	15～16

※ 本体ユニットの取扱説明書もあわせてご確認ください。

これらのチェックを行なっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名		SA01	製造番号（表示位置は「■各部の名称」をご確認ください）	
お客様	お名前			
	ご住所 〒		電話 ()	
お買い上げ日			保証期間（お買い上げ日より）	
年 月 日			1 年	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号			

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の浸入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用消耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
 - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
 - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ



京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512
愛知県名古屋市長久方1-145-1
TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

回収のために下記のリョービ電動サンダを探しています

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、右のQRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

